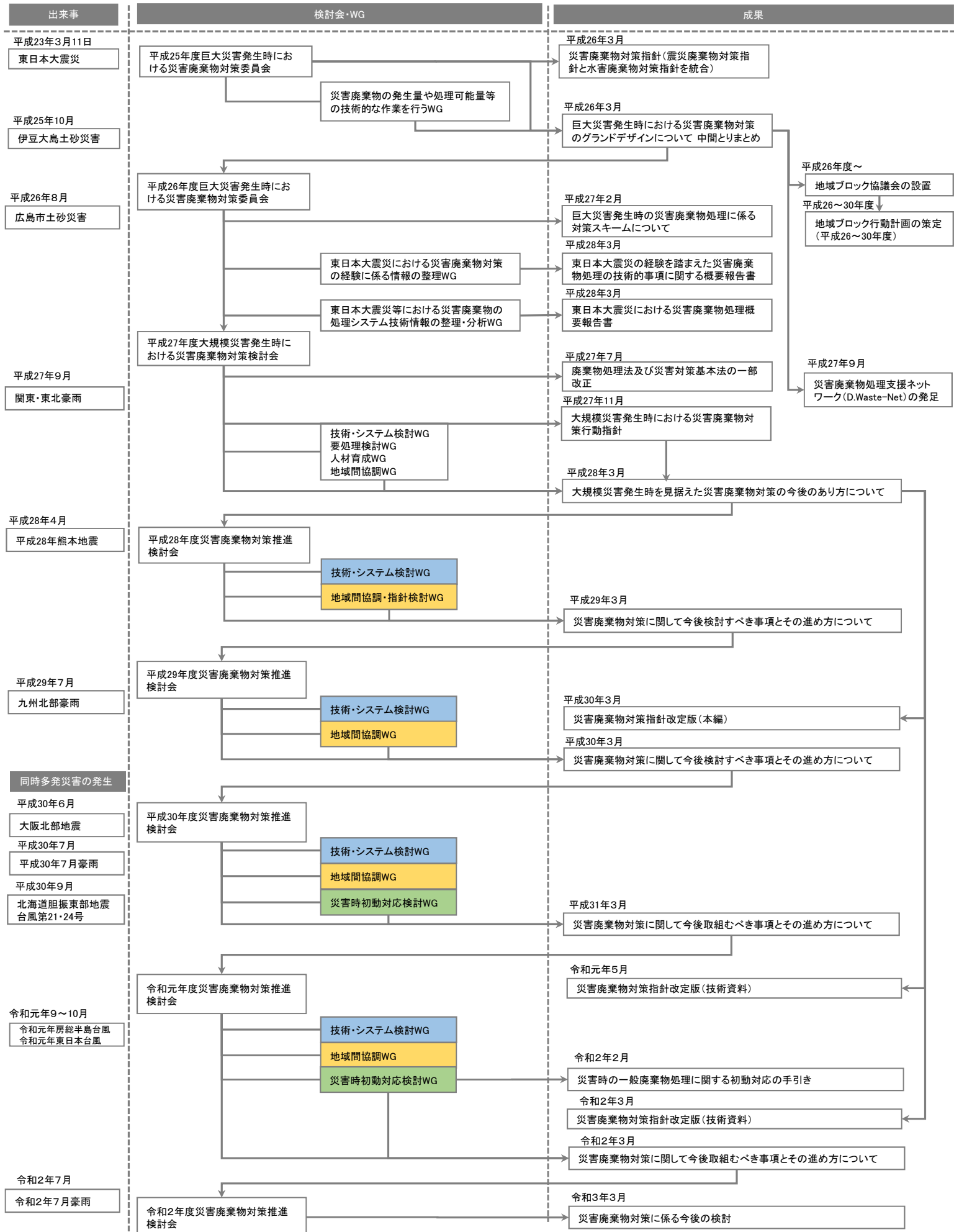


災害廃棄物対策推進検討会等のこれまでの取組・成果

資料5-2



平成26年度～
地域ブロック協議会の設置
平成26～30年度
地域ブロック行動計画の策定(平成26～30年度)

平成27年9月
災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)の発足

ワーキンググループの取組・成果

技術・システム検討ワーキンググループ

地域間協調ワーキンググループ

平成28年度

平成29年度

平成30年度

【検討事項】災害廃棄物発生原単位の検証

- 災害廃棄物発生原単位の検証
- 災害廃棄物の処理実績等のデータ蓄積

【課題】

- 継続的な災害廃棄物発生原単位の蓄積が必要

【検討事項】首都直下地震を想定した災害廃棄物対策技術・システムの検討

- 道路啓開計画等の復旧計画を考慮した仮置場の選定方法の検討
- 災害廃棄物の進捗管理に必要な情報の管理方法の検討

【課題】

- 首都直下地震の初動対応(仮置場の確保、収集運搬体制の確立等)の検討が必要

【検討事項】処理困難な災害廃棄物の把握及び情報共有手法の検討

- メッシュ単位での処理困難物等の発生ポテンシャルの推計手法の検討
- 処理困難物の生活環境や処理等への影響度の整理及び情報共有手法の検討

【検討事項】処理困難物、危険物、有害物質に対する対応方針の検討

- PRTR届出情報に基づく特定第一種指定化学物質の取扱事業所を抽出し、被災リスクを検討
- 水産系廃棄物の賦存量及び畜産系廃棄物に係る家畜等飼育状況の整理、平常時及び非常時の処理内容の検討

【課題】

- 化学物質の発生ポテンシャルの把握が必要

【検討事項】災害廃棄物の発生推定量、処理可能量の点検

- グランドデザインにおいて試算した南海トラフ地震発生時の災害廃棄物の発生推定量及び処理可能量の見直し点検、処理期間の検討

【成果】建物耐震化を踏まえた南海トラフ地震における災害廃棄物発生推定量の見直し

【検討事項】南海トラフ地震を対象とした処理方針の検討

- 南海トラフ地震発生時の処理フロー策定の考え方(地域ブロック別、都道府県別、平常時の処理ブロック単位)、今後決定すべき具体的な対応方針について整理

【検討事項】南海トラフ地震の被災府県における処理計画の記載内容の整理

- 被害が想定される都府県の処理計画における発生量や処理可能量、処理フロー等を整理・比較し、計画の矛盾、不整合点を抽出・整理
- 上記の内容に加え、初動体制、協定内容も含めてグッドプラクティス・バッドプラクティスを整理

【成果】処理計画のグッドプラクティス・バッドプラクティス集

【検討事項】南海トラフ地震における被害想定に関する基礎情報の整理

- 廃棄物処理施設等の被災リスクを考慮し、災害廃棄物の処理可能量を精査し、災害廃棄物処理上の課題を抽出・整理、今後のブロック別処理方針の検討に活かす。

【成果】一般廃棄物処理施設の被災リスクを考慮した処理可能量の算定

【課題】

- 四国ブロック等の処理については、処理が困難することが予測されることから、ブロックをまたぐ広域支援体制について検討することが必要
- 浸水範囲内では津波被害に伴う津波廃棄物等の混合廃棄物の発生が想定され、浸水範囲外では地震被害に伴う片付けごみ、解体廃棄物等の発生が想定されるが、それぞれ処理方法が異なることを踏まえた処理方針の検討が必要

【検討事項】地域ブロック協議会の役割・機能の充実

- 地域ブロック協議会の平常時、災害時における活動事例の整理
- 地域ブロック協議会として取組むことが望ましい事項の整理

【課題】

- 地域ブロックをまたぐ連携に関する検討を行うことが必要

【検討事項】災害廃棄物対応の充実に向けた検討

- 災害廃棄物処理計画の実効性を高めるための検討事項等の整理

【検討事項】災害廃棄物対策指針の点検

- 点検項目の抽出、対応方針の検討

災害廃棄物対策指針検討ワーキンググループにおいて継続検討

【検討事項】過去の災害事例における支援の検証

- 平成28年熊本地震等における「プッシュ型支援」、「プル型支援」の特徴の整理及びその効果の検証
- 過去の災害事例における被災自治体毎のニーズを時系列で整理
- 同時多発化する災害への対応状況の検証

【検討事項】各主体の役割及び支援のマネジメントのあり方の検討

- 関係省庁や地方自治体、民間事業者等との協働のあり方の検討
- 被災自治体の支援におけるマネジメントのあり方の検討

【検討事項】効果的な支援のタイミングや調整のあり方の検討

- 大規模災害に備えた効果的な支援のタイミングや調整のあり方の検討
- 同時多発災害時における円滑・効果的な支援体制構築に向けた課題の整理等

【検討事項】平成30年7月豪雨の被災自治体の災害廃棄物処理計画の記載内容の検証、片付けごみの回収戦略に関する検討

- 被災自治体の災害廃棄物処理計画の記載内容の整理、被災自治体の初動対応の整理、課題や機能した点の抽出、処理計画に記載すべき事項等の整理
- 平成30年7月豪雨等の過去の災害経験を踏まえ、被災自治体が事前に検討すべき事項として片付けごみの回収戦略を検討

【成果】片付けごみの回収戦略

【課題】

- 自治体毎に地域特性を踏まえた災害時のごみ出し方法・ルールを平時から検討しておくことが必要
- 災害時のごみ出し、分別等について、平時・災害時に発信すべき情報や啓発・広報の内容、情報発信の手段等について整理しておくことが必要
- 自治体と自治会・住民・社会福祉協議会等との効果的な連携体制の強化が必要
- 処理計画策定後の実効性を高めるための仕組みの検討が必要

【検討事項】同時多発化する自然災害時における効果的な支援のあり方について

- 平成30年度の災害を振り返り、支援に当たって生じた課題を整理。整理結果を踏まえ、大規模災害時(南海トラフ巨大地震を想定)において被災地で生じる事態を想定し、円滑・効果的な支援体制を構築するための課題を抽出
- 支援経験を踏まえた現地支援チームのオペレーションマニュアルを作成

【成果】支援チームオペレーションマニュアル

【課題】

- 同時多発的に発生する災害に対する効果的な支援のあり方を検討し、支援の効率化に向けた具体的な取組を推進することが必要

【成果】災害廃棄物対策指針本編の改定

【成果】災害廃棄物対策指針技術資料の改定

ワーキンググループの取組・成果

技術・システム検討ワーキンググループ

地域間協調ワーキンググループ

令和元年度

【検討事項】南海トラフ地震における災害廃棄物処理シナリオの検討

- 災害復旧のタイムライン(時間軸)や津波の浸水域内外(空間軸)による発生廃棄物の違いを踏まえた処理方針を検討。(律速要因や優先順位の整理等)
- 被災府県内の要処理検討量について、産業廃棄物処理施設等も含めた処理可能量を精査し、特に四国地方の具体的な処理方針を検討

【課題】

- 南海トラフ地震について、四国ブロック以外の全国的な処理シナリオの検討が必要
- 南海トラフ地震に伴う災害廃棄物処理のための全国的なリソースの確保に向けた検討が必要

【検討事項】地域ブロックをまたぐ広域連携の方策の検討

- 支援・受援の両面からブロックをまたぐ広域連携の方策を検討。具体的には支援の内容や関係者の役割、広域連携の手順について検討
- 南海トラフ地震を対象に環境省職員の出発計画を検討

【課題】

- 地域ブロックをまたぐ広域連携の方策の円滑・迅速な実施、実効性の向上に資する更なる検討、事例収集が必要
- 南海トラフ地震派遣計画の実効性向上に向けた具体化が必要

【検討事項】災害時の情報発信のあり方に関する検討

- 災害時の廃棄物の排出、分別等について、平時及び災害時における情報発信のあり方について検討
- 住民や災害ボランティアに対する情報発信のグッドプラクティスを整理

【成果】住民や災害ボランティアに対する情報発信のグッドプラクティス

令和2年度

【検討事項1】南海トラフ地震における全国的な災害廃棄物処理シナリオの検討

- 昨年度の四国ブロックを対象に検討した災害廃棄物処理シナリオを他の地域ブロックに適用し、全国的な処理シミュレーションを実施
- 地域ブロックごとの要処理検討量(地域ブロック内の廃棄物処理施設では処理しきれない災害廃棄物量)を算出し、広域処理等が必要なブロックとその量を把握

【検討事項2】全国的なリソースの確保に向けた検討

- 検討事項1の結果を踏まえ、災害廃棄物処理に必要なリソースについて、被災家屋等の撤去に伴う必要人員数等の調査・検討、二次仮置場における破砕選別施設の規模の検討、広域輸送に必要な資機材等の調査・検討を実施し、広域処理先・処理期間についても検討

【課題】

- 災害廃棄物処理に必要なリソースを考慮すると、域内におけるリサイクル率の向上や、陸送を含めた広域運搬手段の確保を計画したうえで、適正な処理期間の設定を行うことが必要
- 災害廃棄物の組成は東日本大震災の実績を用いており、不燃物の発生量が過大に推計されている可能性もあるため、地域性(津波浸水域内・外)や建物構造を考慮した組成の設定を検討することが必要

【検討事項1】これまでの支援方法の検証及び関係者間での情報共有のあり方の検討

- これまでの支援方法の検証
- 関係者が協調して支援の効果を最大化するための情報共有のあり方の検討
- 地域ブロックをまたぐ広域連携の方策に係る事例収集と点検・見直し

【検討事項2】南海トラフ地震を対象とした人的支援・収集運搬支援に係る具体的な派遣計画の検討

- 具体的な支援の割り当てに係る検討
- 関係機関との具体的な調整事項の検討
- 南海トラフ地震の多様な発生形態への備えの充実

【検討事項1に係る課題】

- ヒアリング対象とした全ての被災自治体で災害廃棄物処理計画が策定されていたが、災害廃棄物処理の全体像やスケジュール、段取りが分からず対応に苦慮していた。効果的な支援を行うためにも、処理計画の問題点を検証することが必要。

【検討事項2に係る課題】

- し尿処理やごみ・し尿の広域輸送に係る検討が必要。
- 車両不足が想定されることから、車両以外の運搬手段も検討することが必要。等

平成30年度

災害時初動対応検討ワーキンググループ

【検討事項】災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き(案)の作成

- 市区町村が災害時初動対応を検討する際の参考となるよう、「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き(案)」を作成

【検討事項】手引き(案)のモデル検証、自治体等への意見照会

- モデル自治体(板橋区、朝倉市)において、手引き(案)を活用した平時の検討と災害時の初動対応演習を行うことで、災害時初動対応に資する手引きに必要な記載要素を検証
- 全国自治体やD. Waste-Net初動・応急対応団体へ手引き(案)に対する意見照会

【成果】災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き

【課題】

- 「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き」について、普及のための取組や、内容の充実が必要

令和元年度

【検討事項1】モデル演習の実施

- モデル自治体(千葉県館山市、京都府長岡京市)において、手引き(案)を活用した平時の検討と災害時の初動対応演習を行うことで、災害時初動対応に資する手引きに必要な記載要素を検証

【検討事項2】自治体向けマニュアル等への反映の検討

- 災害時の一般廃棄物処理は防災に係る他の取組とも密接に関連するため、他の取組で災害時の一般廃棄物処理を位置づけるとともに、他の取組の関連文書との整合を図るため、自治体向けマニュアル等への反映方法を検討。並行して、関係省庁からの照会への回答を実施

【検討事項3】手引きの内容の充実

- 以下の①②③を踏まえて、本編の改訂や様式記入例や参考事例の追加など、手引きの充実を実施
 - ①モデル演習の結果として得られた成果
 - ②令和元年東日本台風等における初動対応の振り返り
 - ③被災地ヒアリングの結果(熊本県人吉市等)

【検討事項4】初動対応の重要性を伝える動画の作成

- 非常災害発生時の災害廃棄物対策における初動対応の重要性を視覚的に訴えるため、特に被災経験のない自治体の職員を対象とした動画を作成

【成果】災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引きの充実化 初動対応の重要性を伝える動画の作成

令和2年度